

報告第7号

新市まちづくり市民懇話会の構成について

新市まちづくり市民懇話会の構成を、別紙のとおり報告する。

平成29年 1 月24日提出

小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する  
任意協議会 会長 加藤 憲一

## 新市まちづくり市民懇話会の構成について

新市まちづくり市民懇話会(以下、懇話会という。)は、新市まちづくり計画を作成するにあたり、合併後の市をどの様なまちにしたいか、その実現に何が必要かなど、参考とする市民意向を把握するためにワークショップ形式で開催する。構成は、両市の商工業、観光、子育て、市民活動等の分野からそれぞれ推薦をいただいた団体推薦メンバー10人と、公募メンバー10人の合計20人で、公募メンバーの10人については、選考委員会を開催し決定した。

### 1. 懇話会メンバーの募集結果

応募総数 18人(小田原市民11人、南足柄市民7人)

応募総数のうち、男性8人、女性10人

応募総数のうち、10代2人、20代3人、30代5人、40代3人  
50代5人

### 2. 公募メンバーの選考

#### (1) 選考委員会の構成(5人)

委員長：小田原市企画部広域政策担当部長

委員：南足柄市企画部長

南足柄市企画部企画課長

小田原市企画部企画政策課広域政策担当課長(2人)

#### (2) 選考委員会開催日等

開催日：平成28年11月28日(月)

会場：小田原市役所6階会議室

#### (3) 選考委員会における審査基準

募集の際に示した応募資格を満たしていることを前提に、応募用紙の記述内容から、積極性や着眼点など、懇話会での活発な議論が期待できるかを基準に選考を行った。

#### (4) 懇話会メンバーの応募動機等の記述内容

別紙参照。

### 3. 懇話会の構成

#### (1) メンバー構成

両市の市民各10人、合計20人（うち団体推薦10人、公募10人）

【内訳】男性 12人、女性 8人（女性比率：40%）

10代1人、20代2人、30代7人、40代5人、50代5人

《性別・年齢別構成表》（公募メンバー：○ 団体推薦メンバー：●）

市名	小田原市				南足柄市			
	男性		女性		男性		女性	
10代			○					
20代			○		○			
30代		●●	○○		○	●		●
40代		●			○	●	○	●
50代	○	●●			○			●
小計	1人	5人	4人	0人	4人	2人	1人	3人
合計	6人		4人		6人		4人	

#### (2) アドバイザー

大杉 覚（首都大学東京大学院教授）

※懇話会開催の全5回のうち、3回に参加予定。

### 4. 懇話会の開催スケジュール

#### (1) キックオフ（事前説明会）

ア. 開催日時：平成28年12月21日（水） 午後7時～8時40分

イ. 開催場所：小田原市役所601会議室

ウ. 出席者：メンバー18名（都合により欠席2名）

事務局5名

※欠席者2名については、別途、個別に同様の内容を説明済。

エ. 概要：①2市での協議の経過について

②新市まちづくり計画について

③新市まちづくり市民懇話会について

#### (2) 第1回懇話会

ア. 開催日時：平成29年1月24日（火） 午後7時～

イ. 開催場所：小田原市役所601会議室

ウ. テーマ：市民が求めるまちづくりの方向性を考える。（その1）

(3) 第2回懇話会（開催予定）

ア. 開催日時：平成29年2月2日（木） 午後7時～

イ. 開催場所：南足柄市役所

ウ. テーマ：市民が求めるまちづくりの方向性を考える。（その2）

(4) 第3回懇話会（開催予定）

ア. 開催日時：平成29年2月14日（火） 午後7時～

イ. 開催場所：小田原市役所

ウ. テーマ：合併後の小田原市域を考える。

(5) 第4回懇話会（開催予定）

ア. 開催日時：平成29年3月9日（木） 午後7時～

イ. 開催場所：南足柄市役所

ウ. テーマ：合併後の南足柄市域を考える。

(6) 第5回懇話会（開催予定）

ア. 開催日時：平成29年3月28日（火） 午後7時～

イ. 開催場所：南足柄市役所大会議室

ウ. テーマ：合併後の市の将来都市像を考える。

5. 新市まちづくり計画への反映

懇話会で把握した市民意向については、事務局が新市まちづくり計画における合併後の市の将来像や基本方針、新市の重要施策等を取りまとめる上での参考とする。

## 新市まちづくり市民懇話会メンバーの応募動機等の記述内容

応募の動機と抱負	
小田原市 (公募分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 懇話会への参加により合併についての正しい情報を得るとともに、身近にいる両市民の声を行政に伝えたい。</li> <li>・ 会社や地域で活動してきた経験により、色々な角度から、また地に足をつけたディスカッションが提供できるのではないかと思った。</li> <li>・ 年齢の違う方たちの中で、将来の事について意見を述べ、より良い市にするために協力し合い、役に立ちたいと思った。</li> <li>・ 三年前に越してきた。地域の良さや改善点が違った視点で見えると思う。</li> <li>・ 子育て世代として、働くママとして、女性として、この街に暮らしていく展望とともに両市の未来を話す場に参加したい。</li> <li>・ 自分が住んでいる市が変わるかもしれない事に興味を持ったことをきっかけに、様々な世代の方と議論をする中で、若い世代ならではの意見を出せるのではないかと考えた。</li> <li>・ 講演会への参加を通して、合併について考える機会を得た。そして、両市の市民間の温度差も感じた。市民の率直な意見を伝えたいと思った。</li> <li>・ 人口流出を防ぎつつ、若者世代が移住したいと思えるプロモーションの打ち出し方を考えていきたい。</li> <li>・ 生まれ育った町に対する知識が増えるとともに、新たな体験ができると思い応募した。ボランティアの経験、一市民としての意見や建築で学んだまちづくりの知識を活かしたい。</li> <li>・ 両市の良いところ、考えなければいけないところを探してみたい。社会人としての経験と母親として経験の両面から感じたことを活かしたい。</li> <li>・ どのようなことを協議しているかしっかりと理解し、多くの可能性を秘めている地元のために努力したい。</li> </ul>
南足柄市 (公募分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨今の経済情勢の中で、スケールメリットを生かした行政改革は早急に行わなければならないと思う。ぜひ、市民目線での意見を議論したい。</li> <li>・ 子供達が元気に成長できる場や機会を作ってあげたいと感じている。今回参加することで、医療費助成や学校給食制度など、両市の差をどのように縮めるか、南足柄の良さを生かした方法で考えて行きたい。</li> <li>・ 若年層の人口減少に不安を抱き、このままでよいのかと思っている。</li> <li>・ 合併の話聞き、正直、驚きを感じた。そのような中で、市民の一人として、市の運営を身近に考えたいと思った。</li> <li>・ 両市の合併協議がどのように進んでいくか確認したい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属する市民活動団体の中でメンバー募集の話を知り、興味を持った。</li> <li>・今まで南足柄市について考えてきたことを、合併後の市を考える上でも継続して考えていきたいと思っている。そして、多くの世代が暮らしやすいまちになるような提案や意見交換ができれば良いと思う。</li> </ul>
<b>合併した場合に期待される効果は何だと考えますか</b>	
<b>小田原市 (公募分)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両市のイベント・市民活動等の情報の共有による波及効果。</li> <li>・施設の共通利用、人的資源の有効活用による行政サービスの効率化の他、財源等規模の拡大により、大胆な施策が可能となる。</li> <li>・合併することで、今まで両市が別々に発信していた地域の魅力を、新市が生まれるタイミングで、両市が培ってきた手法を織り交ぜて発信することで、効果の拡大が期待できる。</li> <li>・お互いのノウハウ（長所）を合わせれば、より発展した市になると思う。</li> <li>・それぞれの土地の特性を生かして各々の土地の役割（機能）を明確にすることにより、都市の発展をする事が可能になるとともに、重複する機能の集約により効率化を図ることができるようになる。</li> <li>・お祭りなどのイベントが、もっと大きな規模で開催できるようになる。</li> <li>・人口増加により税金が増え、子育てや高齢者対策など、様々な施策が行えるようになる。</li> <li>・地域の存在感やイメージアップにつながり、企業の進出や若者の定住、重要プロジェクトの誘致などが期待できる。</li> <li>・観光などの情報をより効率的に発信できるようになる。</li> <li>・ノウハウ等の交流により、お互いの良いところを吸収する機会になる。</li> <li>・行財政基盤が強化され、行政サービスの充実や安定が図られる。</li> </ul>
<b>小田原市 (団体 推薦分)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市域をまたいで通勤している場合に、職場の近くの保育園に預けられるようになるなど、子育てしやすい環境が作れる。</li> <li>・生活環境、教育文化、健康福祉、産業など、各分野への取り組みにより、市民生活における満足度が上昇する。</li> <li>・職員や議員、重複する施設の削減など合併による行政改革により、経費削減が可能になる。また、今までなかなか手の付けることができなかったプロジェクトや必要な行政サービスを実施することで、市民の利益になる。</li> <li>・行政の効率化、行政の区域拡大による人口の増加。</li> <li>・既存の公共施設や機能を共有することで、市民の利便性が向上する。また、市民交流や市民活動の活性化、公共サービスの充実が期待される。</li> </ul>

<p>南足柄市 (公募分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市長や議員定数の減による人件費の圧縮。スケールメリットによる支出額の圧縮。</li> <li>・ 人口が増え、地域の経済力が上がることが期待される。広域的まちづくりにより、より良い行政サービスが受けられる。</li> <li>・ マンパワーの不足による差は、合併により多少改善されると考える。また、規模の拡大により、財政基盤が安定すると考える。</li> <li>・ 行政の効率化、地域産業の活性化、防災対策の効率化、市民の流動性を促すことにより、住み良い街になる。</li> <li>・ 行政経費削減、県への発言力の強化など</li> <li>・ 面積・財政・人口が大規模になることで、今までできなかったことに挑戦できる。また、両市間における市民相互の活動がより活発になる。</li> <li>・ 合併のメリット・デメリットを学び、今後へ活かしたい。</li> </ul>
<p>南足柄市 (団体 推薦分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当たり前とされてきた仕事のやり方を見直す切っ掛けになり、人員削減による支出抑制だけでなく、費用対効果が期待できる有効な策を見出せるのではないかと。</li> <li>・ 人口増加により、イベント等の周知をする対象が拡大し、集客の拡大が期待できる。また、祭りやイベントの日程が重ならないように調整することも可能になる。</li> <li>・ 広域的な視点で道路や公共施設の整備を進めることができ、地域の個性を生かした効率的なまちづくりを進めることができる。</li> <li>・ 人材の確保、公共施設の相互利用、効果的なまちづくりなどにより新たな市民交流が生まれ、市民活動が拡充する。</li> <li>・ 利用できる公共施設が増え、利便性が増したり、多くの情報を共有したりできる。また、特産品や名所を広域的にPRでき、観光客が増える。</li> </ul>
<p><b>小田原市・南足柄市が合併した場合にどのようなまちになってほしいですか</b></p>	
<p>小田原市 (公募分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両市が培ってきた文化と地域色・マンパワーを十分に発揮できる発展的なまちづくりをしてほしい。</li> <li>・ 自然に恵まれた温暖な気候で「健康年齢の長寿」の地を実現し、良い手本として発信していけるような市になると良いと思います。</li> <li>・ 観光客の誘致や活気のあるまちづくりを通して、多くの方々に愛され訪れてもらえる市になってほしい。</li> <li>・ 子どもたちが将来「ここで子育てしたい」と胸をはって誇れる町。</li> <li>・ 南足柄市の自然体験や小田原市の伝統的な文化体験等を積極的に行うことにより、子育て世代のみならず、シニア世代も住みやすい、他世代交流型の都市を目指せるまちになる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客が、伊豆や箱根への通過点ではなく、合併後の市自体に行きたいと思われるようなまちになってほしい。</li> <li>・子育てしやすいまちになってほしい。例えば、小・中学校の学校設備を充実させ、学びやすい環境が作れるなど。</li> <li>・みんなで創る両市の未来を掲げ市民や団体・企業が自ら立ち上がりアクションを起こせる手作りのまちづくり。</li> <li>・両市の魅力的なエリアを、観光客に対してアピールできるまちになってほしい。</li> <li>・子育てのしやすい、高齢者にやさしい、働きやすい、の3点に重点を置いたまちになってほしい。</li> <li>・「ここに住んでよかった」と感じられる豊かなまちになってほしい。</li> </ul>
<p>小田原市 (団体 推薦分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県西地域で生まれた人が、子育てや就職時に、地域への愛着などの生活の質を求めて、ここに住む選択をしてもらえるようなまちになってほしい。</li> <li>・観光的、産業的にお互いが持っていないものを補完し合い、鉄道、高速道路などのアクセスを生かした魅力的なまちになってほしい。</li> <li>・人口が微増、あるいは現状維持できるまち。子育て世代が安定して一定数転入する仕組みや、退職後の夫婦が気軽に転入できる仕組みを作る。</li> <li>・合併により行政サービスが向上し、住民が恩恵を感じられるようになれば良いと思う。また、自然や箱根・真鶴・湯河原などの温泉地へのアクセスを生かし、仕事と趣味や余暇の両立が可能であることがPRできるまちになってほしい。</li> <li>・中心市として、周辺自治体と連携をとりながら若者や子育て世代にとって魅力的なまちになり、人口増加と市全体の活性化をしてほしい。</li> </ul>
<p>南足柄市 (公募分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少数（南足柄市民）意見を汲んでいただけるような環境を整えてほしい。</li> <li>・子どものことをしっかりと考え、子育てしやすく、ずっと住み続けたいまち、定住人口が増えていくまちになってもらいたい。また、地域の資源を最大限生かしたまちづくりをしてほしい。</li> <li>・お互いのまちの魅力を忘れることなく、より大きなものになってほしい。</li> <li>・市民にとって愛着の持てる街になることを望んでいます。</li> <li>・観光客の増加、企業誘致等による働き口の増加、行政機関の無駄の削減。</li> <li>・環境の良さが守られ、地域産業が盛んになり市民にとって住みよい市になってほしい。</li> <li>・県西地域の新たな拠点として、若年層に愛着を持ってもらえるとともに、将来に市を支える若年層が暮らしやすいまちになってほしい。</li> </ul>



<p>南足柄市 (団体 推薦分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市域が拡大することで、市の中心部と周辺部で行政サービスに差が出ないような「思いやり」にあふれたまちになってほしい。そして、合併することでオリジナリティの強い市になってほしい。</li> <li>・都心から近いので、自然や里山などに魅力を感じる人に身近な拠点として楽しんでもらえ、定住してもらえるようなまちになってほしい。</li> <li>・大雄山駅前の開発や大雄山線の強化をしてほしい。また、小田原城を海外にPRして、海外の観光客が来てくれるようなまちになってほしい。</li> <li>・行政と市民が一体となり、子育て、教育、福祉の輪を広げ、すべての住民が安心して暮らすことができるようになってほしい。また、子どもたちが大人になったときに、地元で働きたいと思えるまちになってほしい。</li> <li>・それぞれの市域が持っている特色や伝統、良さが生かされるとともに、大きなまちになっても、個々人が生き生きと暮らせるまちになってほしい。</li> </ul>
------------------------------	---